

サムスンの人材育成

グローバル化の第一歩は語学の習得から

— 語学マスター課程 —

サムソンは創業以来「人材第一」を理念に掲げ、社員の能力を最大限に引き出す取り組みを進めています。そのユニークな人材育成法を、社員の声とともにご紹介いたします。1回目は「語学マスター課程」です。



参加者は研修中、厳しいが充実した日々を



2003年参加の碓野

グローバル企業として各国の地域社会と深い絆を結びながら、人類社会への貢献を目指す。そのためには社員の国際化は不可欠だ。サムソンでは現在、韓国・龍仁（ヨンイン）にあるサムソン人力開発院で、世界中の社員を対象に19に及ぶ外国語教育を実施している。

特に、日本とアジアの懸け橋役を重視する日本サムソンでは、特別課程として1997年から韓国語の「語学マスター課程」を開設した。

到着後すぐ日本語禁止

10週間の短期集中講座で、業務で使える実践的な韓国語を習得し、韓国の歴史や文化についても学ぶプログラム。期間中は業務からは一切離れ、人力開発院で文字通り「語学漬け」の日々を送る。

到着後すぐに日本語は禁

止。サムソンの教育専任者が講師を担当し、業務に役立つ会話を中心に徹底した語学力養成が図られる。

「基礎的な語学力はあったものの、着いた途端、施設の使い方を韓国語で説明されたのには驚きました。たとえ休み時間であろうと日本語は禁止、という徹底ぶりにも身が引き締まりました」と、2003年に参加した碓野一彦は振り返る。

平日は会話の授業が中心で、夜は大量の宿題が出される。週末は文化と歴史の勉強を兼ねて、一人で街や小旅行へと送り出される。忙しい毎日だったが「望むところだった」と、碓野は言う。

「私の業務では、本社の事情をすぐお客様に伝える必要がある、語学ができない自分はプロとして失格だと感じていました。お客様の期待に応えたい、それが応募の一番の動機でしたから」

短期とはいえ、研修期間は10週間に及ぶ。2005年に参加した浜由佳は、「会社がアルバイトを雇って来て、心置きなく勉強して来い、と。ありがたかったです」と話す。碓野も「上司が率先して中堅社員を送り出す、教育への熱意はサムソンの社風のようなもの」と語る。

人力開発院には常に、同じように語学研修に訪れた世界のサムソン社員がいる。



浜は大阪支店に勤務

会社からの期待を胸に、食堂ではそれぞれに学ぶ言語で会話を交わし、お互いを励まし合った。

お客様の信頼度が増した。97年の開始以来、83人が参加した語学マスター課程の信頼が増した」と、受講者は口を揃える。

今では会議でも堂々と韓国語で発言する碓野は、「懸け橋としての役割が高まり、パートナーとしてまた一歩、お客様と近づけたと感じます」。韓国語能力試験上級を取得した浜も、「お客様のニーズを迅速に本社へ伝え、疑問に対してはその場で本社へ確認してお答えする。ハードな研修で、度胸もつきました」と笑う。

語学力と国際性に加えて自信も備わり、将来の日本サムソンを担う人材へと飛躍していく。

一筆お礼まで

例年になく暖かい正月が過ぎ、早くも梅の花をちらほらと目にする季節になりました。弊誌はお陰さまで創刊3年目。今年は「サムソンのCSR」をテーマに詳細をお伝えする予定です。というのもCSRはサムソンにとって、創業当時から全社員の胸に深く刻まれてきた遺伝子のようなものだからです。企業の社会に対する責任が痛切に問われている現代だからこそ、改めて自分たちのCSRを見つめ直し、お客様とともに歩むサムソンの姿勢を少しでもご理解いただければ、と考えました。

そして昨年、弊誌へのアンケートに多くの方々からご協力を賜りました。この場を借り、厚くお礼を申し上げます。

アンケートでは、「サムソンの企業活動や情報をもっと掲載してほしい」、「サムソンの活動を知りたい」、「さらに一般社員の声があると一層興味がわく」など、今後の編集方針について期

待の声を多数お寄せいただきました。皆さまの声を反映し、今年から誌面にも若干の改定を加えました。少しでも良い誌面をお届けすることで、皆様のご期待に添えればと存じます。今年も1年間、「サムソンからの手紙」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新しくなった日本サムソンのホームページをご覧ください。
www.samsung.com/jp 皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

news letter「サムソンからの手紙」に関するお問い合わせ

日本サムソン株式会社 戦略企画室 Social Relations Team
〒106-8532 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ
TEL: 03-6234-2047 (広報直通) FAX: 03-6234-2040
E-mail: pr-sjc@samsung.com URL: www.samsung.com/jp

記載されている会社名 / 製品名などは各社の商標または登録商標です。

